



■授業公開週間
(12月4日～12月15日)

各教科1時間のICTを活用した公開授業を行いました。町内学校関係者への授業公開や交流をすることで、授業改善に取り組みました。小中学校の先生に多数参観いただきありがとうございました。

■3年生「福祉」手話講座
(12月4日、7日、11日)

手話の学習を通して障がい者福祉への理解を深めるため、毎年3年生の「福祉」選択者を対象に講座を開催しています。あつま手話の会「てのひら」の土居夢恵さんをお招きして講義をしていただきました。佐瀬雅彦校長をはじめ、生徒は自分の名前などを手話で表現できるように頑張りました。

■屋内体育大会
(12月22日)

生徒会執行部と体育委員が、企画・運営しました。スポーツに親しみ、生徒同士の親睦を深めるのが目的です。厚真町スポーツセンターが会場で、開会式に続きドッジボールや大縄跳び、バレーボールで青春の汗を流しました。表彰式でも互いの健闘をたたえました。

■職場体験学習発表会・合格体験発表会
(12月25日)

全校生徒が、体育館に集いました。2年生は11月に3日間行った職場体験学習、1年生は探究活動「厚真人インタビュー」について報告しました。合格体験発表会では、進路先が内定した3年生が、就職や進学について発表しました。この体験が後

輩につながり、充実していくことを期待しています。進路決定一覧は後日ホームページ等で紹介します。

■全校集会(12月25日)

CDによる校歌斉唱で集会が始まりました。表彰伝達では、強歩大会、ワipro・情報処理検定、漢字検定、高文連美術展奨励賞、中高生意見発表会ライオンズクラブ賞の伝達が行われました。佐瀬雅彦校長から壇上で1人ずつ賞状を受け取り、全校生徒が拍手でたたえました。校長講話、生徒指導主事の話の後、教室では担任が諸注意等を伝えて冬休みに入りました。



手話講座

餅つき大会で感じた成果

昨年末、冬休み中の厚真高校の生徒3人を連れて町内で農業を営む堀田さんのお宅へ伺いました。

「よりみち学舎」の活動を通じて生まれた厚高生の居場所の一つです。その日行われた年に一度の餅つき大会に、僕も初めて参加しました。

朝からたくさんのもち米を臼のなかでついていきます。杵を持った生徒が「幼稚園以来かもしれない」と言うとおどろき、なかなかできない体験に胸を躍らせました。ぺったんこ、ぺったんこ。弾力とつやを増した真っ白な餅の回りには、笑顔が広がりました。

お昼は、つくたてのお餅です。きな粉や黒ゴマでごちそうになりました。大きなテーブルを囲み「あれとって、これ渡して」と、弾む会話や皿が行き交う光景は家族そのものでした。

堀田さん宅の訪問は、半年ぶりです。今回の厚高生3人のうち2人が、原木しいたけの作業に参加させていただきました。「久しぶりだね」からはじまる家族との何気ない会話、続々とやってきた町民との触れ合い…。この2年間、地道に高校生と町の接点を作ってきた高校生活魅力化プロジェクトの成果だと改めて感じました。

特別なイベントじゃなくていい。町内唯一の高校生にとって、この町で今日も紡がれている日常との接点。学校とも家とも違う、地域に生まれた居場所や体験は、今後の人生に特別な意味を持たせると僕は信じています。

教育魅力化支援員 加藤 千昇



餅つきのリズムに合う音楽ってなんだろう…

よりみち通信



「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。